

➤ **会社概要 : 金型や部品の精密加工に用いられる超硬エンドミルのリーディングカンパニー**

・日進工具(以下、同社)は、自動車部品、電子部品等の製造に用いられる金型や部品の精密加工に不可欠な小径(同社基準で6mm以下)の超硬エンドミルに特化する機械工具メーカーである。顧客は輸送機械、電気機器、精密機器・医療機器などの大手メーカーから中小部品メーカーまで、顧客は5千社を超えている。

・同社は小径エンドミルに特化するニッチ・トップ戦略を基本とし、以下の2点を重視している。(1) 徒に売上高拡大に走らず利益を優先し、着実な成長を継続する。これまで同社は価格競争に依らず、市場ニーズに沿った製品開発や加工法の提案等で顧客の支持を得てきた。(2) 微細加工が可能な小径品、CBN(立方晶窒化ホウ素)等の高付加価値製品の拡販と生産効率化を進め、高い収益性を確保する。また、無借金経営による強固な財務基盤も収益性を支えている。目標とする経営指標は売上高経常利益率 20%の維持(16/3期 23.3%)。

➤ **2016年3月期決算 : 期初計画を上回る売上高、営業利益を計上、2期連続最高益に**

・2016/3期決算は、売上高 8,382 百万円(前期比 13.2 %増)、営業利益 1,914 百万円(同 29.3 %増)であった。売上高は、同社が 2015 年 10 月に減額修正した予想(8,010 百万円)は元より、期初予想(8,200 百万円)をも上回った。営業利益は、2016 年 1 月に増額修正した予想 1,870 百万円(期初予想 1,630 百万円)も上回った。

・製品区分別では、主力の 6mm 以下のエンドミルが 5,931 百万円(前期比 11.9%増)、6mm 超のエンドミルが 971 百万円(同 4.9%増)、その他のエンドミルが 805 百万円(同 21.9%増)、ケース等その他が 673 百万円(同 30.9%増)であった。自動車関連、スマートフォン関連を中心に小径エンドミルの需要は堅調に推移した。

・堅調な需要を背景とする高い設備稼働率の実現、高付加価値の CBN 製品の伸長、技術部門の人件費の売上原価から販売費及び一般管理費(以下、販管費)への移管等を要因として、売上高総利益率は 52.4%と前期比 2.3%ポイント改善した。上記要因や業務システム更新に伴う減価償却費の増加があっても販管費の増加率(前期比 11.2%増)は売上高を下回った。以上より売上高営業利益率は前期比 2.8%;ポイント改善し 22.8%となった。

・仙台北部の既存工場敷地内に 16 年 3 月に新工場棟が竣工、機械設備の搬入を前倒しで進めた結果、16/3 期の設備投資額は過去最高の 1,295 百万円(前期比 2.1 倍)となり、期末の生産能力は期初比約 2 割増となった。減価償却費は 505 百万円(同 6.4%増)で、償却負担は 17/3 期に本格化する見込みである。

➤ **2017年3月期会社予想 : 顧客の景況踏まえ慎重に微増収、微増益予想ながら連続増配を計画**

・2017/3 期業績について同社は、1.2%増収、1.3%営業増益と慎重な見通しを公表した。自動車関連は燃料電池車や自動運転に向けた新たな部品開発等で引き続き需要拡大が期待される一方、スマートフォン市場の増勢鈍化や円高基調により、下期に向けて顧客の景況が悪化することを懸念していると推察される。

・2017/3 期の設備投資は 706 百万円(前期比 45.5%減)、減価償却費は 635 百万円(同 25.9%増)を計画している。設備投資一服に伴い、利益剰余金は連続増配に使い、株主に報いる意向である(予想配当利回り 3.3%)。アルファ・ウイン調査部は、売上高が伸び悩むならば、減価償却費の増加等を考慮すれば、利益横ばいは妥当な予想と考えている。

【 6157 日進工具 業種:機械 】 株価(5/13終値) 1,809円 時価総額 11,309百万円 会社予想基準PER(今期) 8.4倍

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	純資産 (百万円)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円/年)
2015/3	7,402	15.3	1,481	38.5	1,534	38.6	973	40.1	8,480	155.7	1,356.5	40.0
2016/3	8,382	13.2	1,914	29.3	1,954	27.4	1,342	37.9	9,569	214.8	1,530.7	50.0
2017/3	8,480	1.2	1,940	1.3	1,980	1.3	1,350	0.5	—	215.9	—	60.0

(注)2017/3予は会社予想

ディスクレーマー

アルファ・ウイン調査メモ(以下、本メモ)は、基本的に掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社 (以下、弊社)が作成するものです。

本メモは、投資の勧誘や推奨を意図したものでもありません。弊社は投資家が本メモを利用したこと、又は本メモに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。

本メモの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材等を経て作成されたものです。本メモの作成者は、インサイダー情報の使用はもとより、当該情報の入手も禁じられております。本メモに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本メモに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本メモの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

連絡は、電子メール【info@awincap.jp】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本メモ作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。